

四国の航空ネットワーク新時代を迎えて

～ 香川県及び周辺地域企業へのアンケート調査を含んで ～

1. はじめに

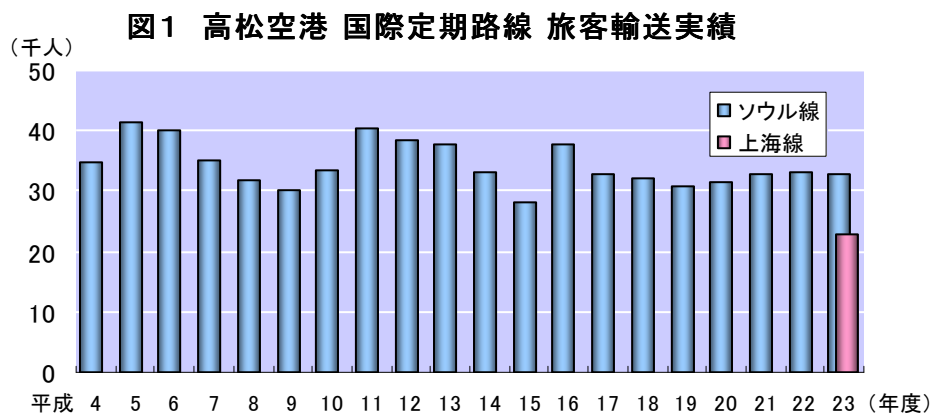
国際化が進む香川県の高松空港に、平成 25 年 3 月、四国の空港としては初めてとなる「高松-台北線」が週 2 往復で運航開始となった。これにより、高松空港発着の国際定期便は、ソウル、上海、台北の 3 路線となり、香川県及びその周辺地域の企業（徳島県、愛媛県東部、高知県、岡山県南部の企業、以降、隣県企業と言う）にとって、利便性が向上し、アジア各国との時間的距離が縮まり、アジアの経済成長を香川県及びその周辺地域に取り込むための環境整備が一層進んだ。航空ネットワーク新時代を迎えた高松空港の動向を、香川県内企業及び高松空港の利用圏内にある隣県企業へのアンケート調査を含めてまとめた。



「高松-台北線」第1便、高松空港到着の様子
(平成 25 年 3 月 21 日)

2. 国際化が進む高松空港

高松空港発着の国際定期便は、平成 4 年 4 月開設の四国初の国際定期路線となる「高松-ソウル線」が最初である。アシアナ航空（韓国）により、週 3 往復で開設され、高松空港は地方空港として全国 14 番目の国際化を果たした。その後、高松空港には 23 年 7 月に格安航空会社（LCC）の春秋航空（中国）による上海線が週 2 往復で開設された（同線は翌 24 年 3 月に週 3 往復に増便されている）。各線の開設以来の旅客輸送実績は、図 1 の通りである。ソウル線は年間約 3 万人程度で推移している。上海線は初年度（23 年度）、約 2 万 3 千人の利用実績があった。



資料: 香川県交通政策課

航空業界は今、転換期にある。平成 22 年 10 月、日本は米国と完全なオープンスカイ協定を締結するなど、航空の自由化が進んでいる。オープンスカイとは、航空会社の新規参入や増便、航空会社間の競争促進による運賃低下等のサービス水準の向上を図るため、国際航空輸送における企業数、路線及び便数に係る制約を二国間で相互に撤廃することをいい、近年、世界の多くの国がこれを進めている。

日本のオープンスカイは、東アジア、ASEANの国・地域を最優先に推進され、24 年 3 月までに、米国、韓国、シンガポール、マレーシア、香港、ベトナム、マカオ、インドネシア、カナダ、オーストラリア、ブルネイ、台湾、英国、ニュージーランド及びスリランカの計 15 か国・地域との間でオープンスカイの合意がなされて、その後も合意国の数は増えている。

こうした中、平成 25 年 3 月、チャイナエアライン（台湾）によって「高松ー台北線」が開設され、これにより、高松空港は国際定期便を 3 路線持つ空港となった。近隣他県にある空港の国際定期便の状況は、表 1 の通りである。台北線については「高松ー台北線」が四国初ではあるが、対岸の岡山空港にも今年 4 月に台北線が開設されたほか、広島空港にも既に台北線の毎日便がある。利用者にとっては、海外へ出張や旅行などで利用する路線の選択肢が増え、利便性が向上している。

観光面から見ると、四国や瀬戸内海に接する地域にある空港の国際路線が増えることで、同地域へ訪れる外国人旅行者の利便性は向上、これは、外国人旅行者誘致にとってもプラス材料となることから、その経済的効果にも期待が寄せられている。



高松市中央商店街の様子
「瀬戸内国際芸術祭 2013」のバナーフラッグとともに掲出の「台北線就航」懸垂幕

表1 香川県及び隣県空港の国際定期路線運航状況

空港名(愛称)	所在県	路線	運航会社	便数	備考
高松空港	香川県	ソウル線	アジアナ航空	週3往復	LCC H25.3.21就航
		上海線	春秋航空	週3往復	
		台北線	チャイナエアライン	週2往復	
徳島阿波おどり空港	徳島県	—			
松山空港	愛媛県	ソウル線	アジアナ航空	週3往復	
		上海線	中国東方航空	週4往復	
高知龍馬空港	高知県	—			
岡山空港	岡山県	ソウル線	大韓航空	毎日	H25.4.3就航
		上海線	中国東方航空	毎日	
		台北線	エバー航空	週2往復	
		グアム線	ユナイテッド航空	週2往復	

資料: 各空港ホームページより(平成25年4月5日現在)

3. 香川県及び隣県企業へのアンケート調査

高松―台北線就航を控えた平成 25 年 1～2 月にかけて、香川県内企業及び高松空港の利用圏内にある隣県企業に対して、以下の要領でアンケート調査を実施した。

■アンケート調査要領

①調査期間：平成25年1月22日～25年2月26日
 ②調査方法：郵送によるアンケート方式
 ③調査対象：香川県及び香川県周辺地域の企業1,431社
 <内訳>
 香川県：従業員数25人以上の企業を主に1,066社
 徳島県：アジア諸国と海外取引がある企業を主に91社
 愛媛県：アジア諸国と海外取引がある企業を主に93社
 （対象は県東部：今治市、新居浜市、西条市、四国中央市）
 高知県：アジア諸国と海外取引がある企業を主に68社
 岡山県：アジア諸国と海外取引がある企業を主に113社
 （対象は県南部：岡山市、総社市、倉敷市、玉野市）

④回答状況

項 目	香川	徳島	愛媛	高知	岡山	合計
アンケート送付先（社）	1,066	91	93	68	113	1,431
有効回答数（社）	473	33	34	20	44	604
有効回答率（%）	44.4	36.3	36.6	29.4	38.9	42.2

⑤注意事項

- ・質問に対して一部回答が無い企業のデータも含まれている。
- ・アンケート送付先の抽出条件が県毎に異なるため、集計結果は県毎に比較できない。

アンケート調査時点での高松―台北線の認知度は、表 2 の通りで、香川県内企業のうち、「知っている（48.2%）」、「聞いたことはある（24.7%）」と答えた企業の割合は計 72.9%であった。隣県企業については、アンケートの送付先の基準が香川県とは異なるため比較できないが、「知っている（25.2%）」、「聞いたことはある（11.5%）」と答えた企業の割合は計 36.7%であった。

表2 Q.平成25年3月より、高松空港で「高松―台北便」が、運航開始(週2往復)の予定です。ご存知ですか？

選択肢	回答数(実数)							回答割合(%)						
	【参考】						【参考】 合計	【参考】						【参考】 合計
	香川	徳島	愛媛	高知	岡山	香川以外		香川	徳島	愛媛	高知	岡山	香川以外	
1. 知っている	228	5	11	5	12	33	261	48.2	15.2	32.4	25.0	27.3	25.2	43.2
2. 聞いたことはある	117	7	2	1	5	15	132	24.7	21.2	5.9	5.0	11.4	11.5	21.9
3. 知らなかった	128	21	21	14	27	83	211	27.1	63.6	61.8	70.0	61.4	63.4	34.9
合 計	473	33	34	20	44	131	604	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(注) 1. 四捨五入の関係で内訳と合計が一致しない場合がある。2. 各県でアンケートの対象先の抽出基準が異なるため県毎の比較はできない。

高松―台北線のビジネス目的での利用の予定を聞いた結果は、表 3 の通りである。香川県内企業のうち、「利用する予定である（12.1%）」、「利用するかどうか検討中（15.0%）」と答えた企業の割合は計 27.1%で、約 3 割の企業が同線利用に関心を寄せている結果となった。隣県企業については、アンケートの送付先の基準が香川県とは異なるため比較はできないが、「利用する予定である（6.1%）」、「利用するかどうか検討中（27.5%）」と答えた企業の割合は計 33.6%であった。

表3 Q.御社はビジネス目的で、高松空港の「高松ー台北便」を利用しようと思いませんか？

選択肢	回答数(実数)							回答割合(%)						
	香川	【参考】					【参考】 合計	香川	【参考】					【参考】 合計
		徳島	愛媛	高知	岡山	香川以外			徳島	愛媛	高知	岡山	香川以外	
1. 利用する予定である	57	3	2	0	3	8	65	12.1	9.1	5.9	0.0	6.8	6.1	10.8
2. 利用するかどうか検討中	71	12	12	7	5	36	107	15.0	36.4	35.3	35.0	11.4	27.5	17.7
3. 利用しないだろう	344	18	20	13	36	87	431	72.9	54.5	58.8	65.0	81.8	66.4	71.5
合計	472	33	34	20	44	131	603	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(注)1. 四捨五入の関係で内訳と合計が一致しない場合がある。2.各県でアンケートの対象先の抽出基準が異なるため県毎の比較はできない。

なお、回答企業のビジネス上の海外取引の有無及びその取引国(地域)は表4、表5の通りである。香川県内企業の場合、ビジネス上、海外と取引が「ある(35.9%)」「少しある(13.5%)」と回答した企業の割合は計49.4%で、取引先で多かった国は中国の29.4%、韓国の13.9%、台湾の12.0%であった。隣県企業については、アジア諸国と海外取引のある企業を中心にアンケート調査を実施しているため海外取引のある企業の割合は高くなっているため香川県のアンケート結果とは比較できないが、取引先で多かった国は香川同様、中国が最も割合が高く29.1%、次いで韓国の12.4%、台湾の11.5%である。

表4 Q.御社は、ビジネス上、海外と取引(貿易、送金、事業提携、従業員・研修生受入など)がありますか？

選択肢	回答数(実数)							回答割合(%)						
	香川	【参考】					【参考】 合計	香川	【参考】					【参考】 合計
		徳島	愛媛	高知	岡山	香川以外			徳島	愛媛	高知	岡山	香川以外	
1. ある	170	25	21	8	39	93	263	35.9	75.8	61.8	40.0	88.6	71.0	43.5
2. 少しある	64	4	8	8	3	23	87	13.5	12.1	23.5	40.0	6.8	17.6	14.4
3. 無い	235	4	4	4	2	14	249	49.7	12.1	11.8	20.0	4.5	10.7	41.2
4. その他	4	0	1	0	0	1	5	0.8	0.0	2.9	0.0	0.0	0.8	0.8
合計	473	33	34	20	44	131	604	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(注)1. 四捨五入の関係で内訳と合計が一致しない場合がある。2.各県でアンケートの対象先の抽出基準が異なるため県毎の比較はできない。

表5 Q.次のどちらの地域と海外取引がありますか？(複数回答可)

選択肢	回答数(実数)							回答割合(%)						
	香川	【参考】					【参考】 合計	香川	【参考】					【参考】 合計
		徳島	愛媛	高知	岡山	香川以外			徳島	愛媛	高知	岡山	香川以外	
1. 中国	169	24	21	11	38	94	263	29.4	32.9	27.6	27.5	28.4	29.1	29.3
2. 台湾	69	6	9	9	13	37	106	12.0	8.2	11.8	22.5	9.7	11.5	11.8
3. 韓国	80	11	11	4	14	40	120	13.9	15.1	14.5	10.0	10.4	12.4	13.4
4. フィリピン	21	2	2	0	5	9	30	3.7	2.7	2.6	0.0	3.7	2.8	3.3
5. インドネシア	43	4	5	2	13	24	67	7.5	5.5	6.6	5.0	9.7	7.4	7.5
6. ベトナム	40	3	5	2	8	18	58	7.0	4.1	6.6	5.0	6.0	5.6	6.5
7. カンボジア	10	0	1	0	3	4	14	1.7	0.0	1.3	0.0	2.2	1.2	1.6
8. タイ	35	7	5	4	16	32	67	6.1	9.6	6.6	10.0	11.9	9.9	7.5
9. シンガポール	26	3	7	3	7	20	46	4.5	4.1	9.2	7.5	5.2	6.2	5.1
10. マレーシア	21	3	4	2	6	15	36	3.7	4.1	5.3	5.0	4.5	4.6	4.0
11. ミャンマー	2	2	0	0	2	4	6	0.3	2.7	0.0	0.0	1.5	1.2	0.7
12. インド	7	3	3	1	3	10	17	1.2	4.1	3.9	2.5	2.2	3.1	1.9
13. その他	51	5	3	2	6	16	67	8.9	6.8	3.9	5.0	4.5	5.0	7.5
合計	574	73	76	40	134	323	897	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(注)1. 四捨五入の関係で内訳と合計が一致しない場合がある。2.各県でアンケートの対象先の抽出基準が異なるため県毎の比較はできない。

高松ー台北便を運航するチャイナエアライン(中華航空)のフライトネットワークを利用すると、台湾だけでなく、台湾経由で、東アジア等に行くことができることから、高松空港から台湾で乗り継いで、利用してみたい路線(行き先)を、ビジネス目

的、観光目的別に、便宜上挙げた10か国の中から選択してもらった。なお、回答にあたっては、運航ダイヤや航空運賃、帰国経路、台湾での滞在時間は無視して回答してもらっている。

アンケートの結果、香川県内企業のビジネス目的で興味のある行き先のうち、回答割合が最も高かったのは、表6の通り、ベトナムで18.9%、次いで香港とタイが14.9%であった。

一方、社員旅行や回答者自身の私的な旅行などの観光目的で、利用してみたい路線(行き先)は、表7の通りである。香川県内企業の観光目的で興味のある行き先のうち、回答割合が最も高かったのは、シンガポールで19.9%、次いで香港の17.6%、タイの14.7%であった。

表6 Q.ビジネス目的で高松空港から台湾経由(乗り継ぎ)で利用してみたい路線(行き先)はどれですか。

(1つ以上選択、複数回答可)

選択肢	回答数(実数)							回答割合(%)						
	【参考】						【参考】 合計	【参考】						【参考】 合計
	香川	徳島	愛媛	高知	岡山	香川以外		香川	徳島	愛媛	高知	岡山	香川以外	
1. 香港	66	3	5	5	4	17	83	14.9	10.0	11.4	21.7	8.2	11.6	14.1
2. フィリピン	18	1	1	2	2	6	24	4.1	3.3	2.3	8.7	4.1	4.1	4.1
3. インドネシア	52	5	7	4	9	25	77	11.7	16.7	15.9	17.4	18.4	17.1	13.1
4. ベトナム	84	4	7	2	10	23	107	18.9	13.3	15.9	8.7	20.4	15.8	18.1
5. カンボジア	21	2	1	0	2	5	26	4.7	6.7	2.3	0.0	4.1	3.4	4.4
6. タイ	66	4	11	3	11	29	95	14.9	13.3	25.0	13.0	22.4	19.9	16.1
7. シンガポール	49	4	3	2	5	14	63	11.0	13.3	6.8	8.7	10.2	9.6	10.7
8. マレーシア	24	1	2	3	2	8	32	5.4	3.3	4.5	13.0	4.1	5.5	5.4
9. ミャンマー	37	3	2	1	3	9	46	8.3	10.0	4.5	4.3	6.1	6.2	7.8
10. インド	27	3	5	1	1	10	37	6.1	10.0	11.4	4.3	2.0	6.8	6.3
合計	444	30	44	23	49	146	590	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(注)1. 四捨五入の関係で内訳と合計が一致しない場合がある。2. 各県でアンケートの対象先の抽出基準が異なるため県毎の比較はできない。

表7 Q.観光目的(社員旅行、私的旅行など)で高松空港から台湾経由(乗り継ぎ)で利用してみたい路線(行き先)はどれですか。

(1つ以上選択、複数回答可)

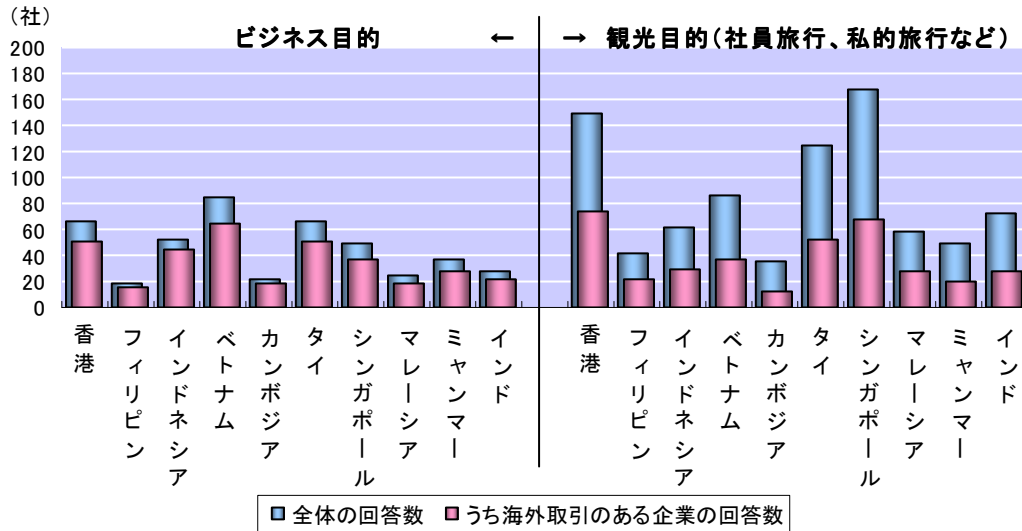
選択肢	回答数(実数)							回答割合(%)						
	【参考】						【参考】 合計	【参考】						【参考】 合計
	香川	徳島	愛媛	高知	岡山	香川以外		香川	徳島	愛媛	高知	岡山	香川以外	
1. 香港	149	10	9	2	10	31	180	17.6	31.3	16.1	12.5	20.8	20.4	18.1
2. フィリピン	41	3	0	1	2	6	47	4.9	9.4	0.0	6.3	4.2	3.9	4.7
3. インドネシア	61	2	4	1	2	9	70	7.2	6.3	7.1	6.3	4.2	5.9	7.0
4. ベトナム	86	2	4	3	4	13	99	10.2	6.3	7.1	18.8	8.3	8.6	9.9
5. カンボジア	36	0	1	0	2	3	39	4.3	0.0	1.8	0.0	4.2	2.0	3.9
6. タイ	124	3	8	3	11	25	149	14.7	9.4	14.3	18.8	22.9	16.4	14.9
7. シンガポール	168	8	15	4	10	37	205	19.9	25.0	26.8	25.0	20.8	24.3	20.6
8. マレーシア	58	3	6	0	4	13	71	6.9	9.4	10.7	0.0	8.3	8.6	7.1
9. ミャンマー	50	0	4	0	2	6	56	5.9	0.0	7.1	0.0	4.2	3.9	5.6
10. インド	72	1	5	2	1	9	81	8.5	3.1	8.9	12.5	2.1	5.9	8.1
合計	845	32	56	16	48	152	997	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(注)1. 四捨五入の関係で内訳と合計が一致しない場合がある。2. 各県でアンケートの対象先の抽出基準が異なるため県毎の比較はできない。

図2は、表6、表7の香川県内企業の回答数をビジネス目的、観光目的別にグラフ化したものである(表4の質問で、海外と取引が「ある」「少しある」と回答した企業

の回答数もグラフに掲載しているなので参考にされたい)。

図2 香川県内企業が高松空港から台湾経由で利用してみたい路線(行き先別)



(注) 海外取引のある企業の回答数とは、表4の質問で海外と取引が「ある」「少しある」と回答した企業を対象に集計した結果である。

4. おわりに

平成 25 年 3 月 21 日の「高松ー台北線」就航に合わせて、手狭になった高松空港の国際線ターミナルの増築工事が行われた。2 階搭乗待合室の免税店は 1.5 倍に広げられ、1 階到着ロビーには、中国のクレジットカード「銀聯カード」などが利用できる ATM が新設された。国内線 2 階出発ロビーにも、コンビニやうどん店が新たに新設され、屋上の送迎デッキも無料化された。高松空港前の道路には、一般車の送迎スペースが設けられ、台北線の就航に合わせて駐車場無料キャンペーンも実施されるなど、外国人旅行者や日本人旅行者の利便性向上に向けた取り組みが行われている。

高松空港ロビーには、25 年 3 月 20 日に開幕した「瀬戸内国際芸術祭 2013」の横断幕が掲げられている。高松空港を利用し入出国する外国人旅行者や日本人旅行者に同芸術祭を通じて、香川だけでなく、四国や瀬戸内海の魅力を伝える絶好の機会でもある。高松空港はその一翼を担う重要な拠点である。香川県内企業、香川県民も高松空港の国際線を積極的に活用し、台北線就航でより近くなったアジア各国との相互交流を深め、地域の活性化に繋げていく必要があると考える。

(H25.4.22 主任研究員 高木 俊裕)